

「松之山地域まちづくりアンケート」自由記入事項集約版

241人（男106、女135）の方々から記入していただきました。その中から、多かった意見を中心に要点をまとめ、集約した形で紹介します。

分野：地域・地区・集落、地域社会

	会が多すぎ、役職メンバーも重複している。幅広い人材の活用と組織・行事の見直しが必要。
	松之山の良さが年々無くなってきているようだ。
	自分の意見を出しにくく、周りと同調しないと生きづらい地域だ。
	人口減と高齢化で、役員の成り手もいなくなり集落の運営ができなくなる。
	他の地区・集落・団体の活動について知る機会が欲しい。
	人口減少が続き、地域の将来が不安である。子どもに住み続けて欲しいと言えない。
	老後を考えた時に、ここの良さに気づきUターンして来た。
	移住者の受入れも大切だが、移住者は集落の一員という意識を持ってもらいたい。
	仲間同士で相談したり気楽に集まれる場所が欲しい。
	地区の活動・行事を見直し、誰でも気楽に参加できる形と内容にしてもらいたい。
	地区協議会の活動内容が良く分からない。若い人の意見も聞いてほしい。
	若い世代の行動に対し、高齢者からの批判が多い。

分野：環境・福祉・高齢化

	空き家対策を進めてもらいたい。
	田畑や山林の荒廃が進み、獣の被害が拡大している。
	車の運転ができなくなるとここに住み続けることは難しい。
	高齢者になると、交通手段・買い物・通院・除雪などあらゆる事が不安になる。
	有料でもいいから、地域全体で高齢者の生活をサポートしていただける体制が欲しい。
	介護が必要になった時に、受け入れてもらえる施設がすぐに見つかるか不安。
	地域のために何も出来なくなり肩身が狭い。（高齢者）
	仲間がいなくなり寂しさを感じる。（高齢者）
	冬期間だけ生活する、シルバーアットホームのような施設の充実を望む。
	高齢者になると雪のことが一番の心配事になる。

分野：産業・観光

	美人林周辺の整備を進め、観光客の誘致を加速し、地元にお金が落ちる対策が必要。
	住民が満足できる地域環境が、観光地としての魅力を高める。
	農業を生業に出来る体制づくりが必要。高齢化により農業用施設の維持管理が不安。
	農業の大規模化は山間地には合わない。山間地の実態に合った補助制度を望む。

分野：行政・公的機関・まちづくり	
	職場が多くなっても、若者が住みたくなるようなまちづくり・環境作りが必要。
	大きなイベントがなくなり寂しい。何もしないのは楽だが、地域の衰退につながるのでは。
	市の中心部に箱物建設が進んでいるが、周辺部は銀行・店舗・食堂等がなくなり置き去り状態だ。
	合併しても良いことはなかった。
	行政・JAや自治振興会の人たちは、もっと集落に出向いて住民の話を聞いてもらいたい。
	市営バスをもっと使いやすい運行にしてもらいたい。
	Uターン者にもターン者並みの支援があれば帰ってきやすくなるのでは。
	独身者用のアパートがもっとあればよい。
	地域づくりは、住民一人一人の自主性とやる気が大切。
分野：子育て・少子化・人口減	
	子どもが少なく、子ども同士で遊べる機会や場所が少ない。
	山村留学を復活すべきだ。
	今後の更なる少子化を考えると、この土地で子育てをすることは難しい。
	診療所で子どもの診察をしてもらいたい。
	全てにおいて選択肢が少なすぎる。これでは子どもがこの地で生活しようとは思わないだろう。
	午後8時頃まで子どもを預かってくれる所があれば、夜の仕事をやる共働き世帯は助かる。
	子どもから、ここが良い所だというイメージを持ってもらえる様、大人・親・地域の取組みが大切。
分野：雪対策	
	歩道の除雪をしてもらいたい。
	除雪道路沿いがない住宅は、道路沿いにある住宅に比べて不公平感がある。
	道路除雪の時間が遅く、出勤に支障がある。
	除雪支援の拡充を望む。落雪式屋根の雪処理費用、小型除雪機の燃料費 等。
	保安要員の配置拡充をしてもらいたい。
	雪対策が充実していれば、人口減はある程度防げるのではないか。
分野：その他	
	設問は、中学生や高齢者には難しいと思った。
	アンケートの結果何が分かったのか、これをどのように生かすのか教えていただきたい。
	アンケート結果が市政に反映されることを願う。
	このような地域の実情を把握しようとする動きには期待したい。